



東京の風景印

浅草・雷門

全国に約2万ある郵便局のうち、1万2千レビの放送などでよくの郵便局に配備されている「風景印」。

私が風景印の存在を知ったのは最近のことである。

学生時代に4年間東京で過ごしたが、何といっても広い東京、もちろん、郵便局の数も全国で一番多い。それに従って風景印も色々ある。

浅草の雷門近くに住む娘から、東京各地の風景印が押されたハガキが届く。田舎から上京した自分には「風景印」から東京各地を

さて、庶民の街浅草。

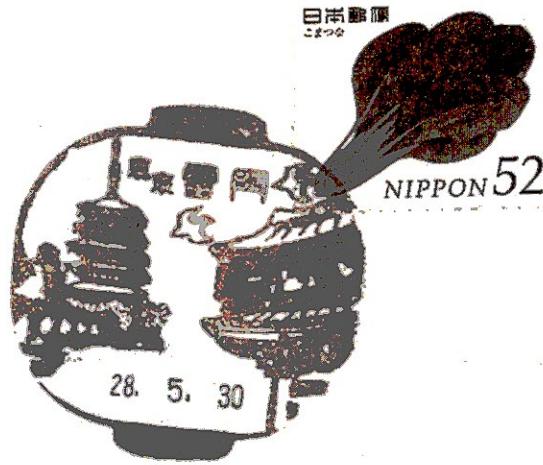
調べてみると、高さは3・9m、直径 3・3m、重さ 7kg、和紙 300枚

の大きさがああるのか、気になる。最近好んで「浅草ビュー・ホテル」に泊まる。道路をはさんで、正面に東京スカイツリーが見える。雷門を見学のための「仲通り」は中国人、韓国人でごった返し、かん高い声で賑やか

それを知って、今一度雷門を見るのも、浅草を知る意味がある気がする。それを知って、今一度雷門を見るのも、浅草を知る意味がある気がする。

上京した際は、近代的な東京より、江戸と呼ばれたころの東京めぐりも楽しい。

「どぜう」と書かれた古びた二階建ての建物があり、何かと見ると「どじょう」を食べさせる店であったりする。今回の風景印は浅草とは全く異なる今、話題の東大王(東大生が活躍するクイズ番組)で有名になった「東京大学」の風景印。



も時代には小川にたく